

# ジャパニーズ・ドリーム・オープン

追加型投信／国内／株式

作成対象期間：2022年2月26日～2023年2月27日

第 23 期 決算日：2023年2月27日

## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
当ファンドは、わが国の金融商品取引所上場（これに準ずるものを含みます。）株式を主要投資対象とし、ファンドマネージャー自身のボトムアップ・アプローチによる銘柄選定を行うことで、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行うことを目的としております。ここに運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドが受益者のみなさまの資産形成に資するよう、運用に努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

### 第23期末（2023年2月27日）

基準価額	24,190円
純資産総額	4,470百万円
騰落率	4.3%
分配金合計 <sup>(*)</sup>	380円

(注) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率で表示しています。

(\*) 当期間の合計分配金額です。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、以下の方法でご覧いただけます。運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。


閲覧・ダウンロード方法



<https://www.am.mufig.jp/>

[ファンド検索] に  
ファンド名を入力

各ファンドの詳細ページで  
閲覧およびダウンロード

 **MUFG** 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号  
ホームページ <https://www.am.mufig.jp/>

### ■当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客さま専用  
フリーダイヤル  **0120-151034**

(受付時間：営業日の9：00～17：00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

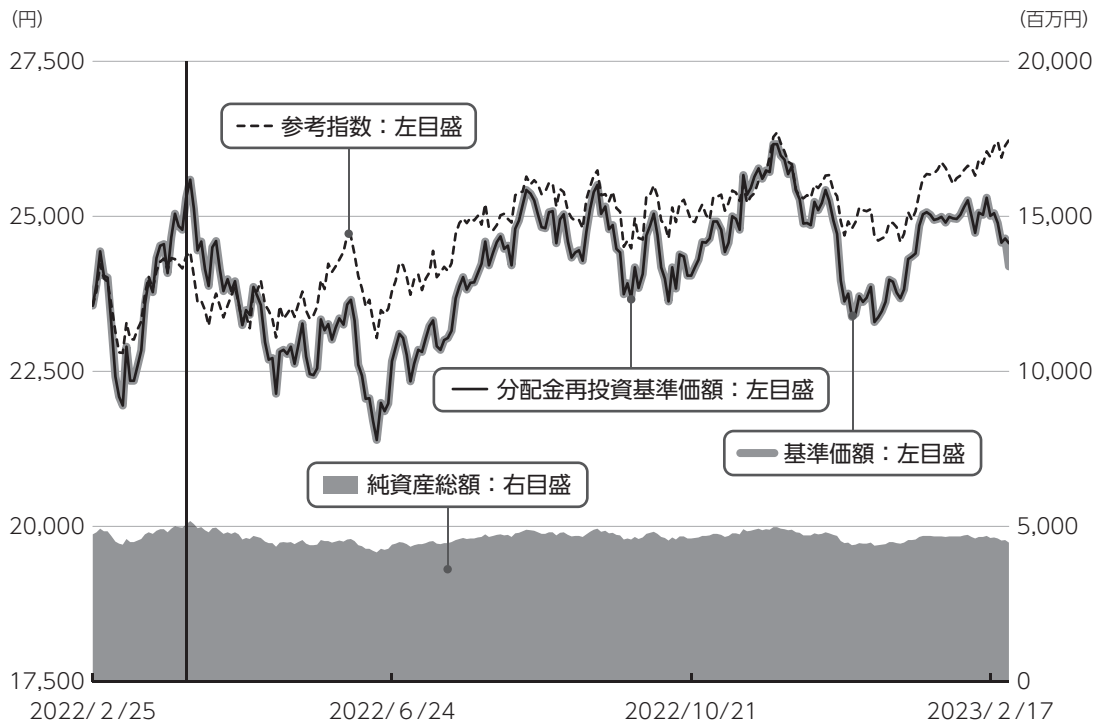
お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

# 運用経過

第23期：2022年2月26日～2023年2月27日

## ▶ 当期中の基準価額等の推移について

### 基準価額等の推移



※2022年4月4日の東京証券取引所の市場区分再編時点にラインを入れます。

第23期首	23,562円
第23期末	24,190円
既払分配金	380円
騰落率	4.3%
(分配金再投資ベース)	

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

## 基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ4.3%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

## 基準価額の主な変動要因

### 上昇要因

商品市況が落ち着きを見せインフレへの過度な警戒感が一服したことや堅調な国内企業の決算などを背景に国内株式市況が上昇したことが、基準価額の上昇要因となりました。

### 下落要因

世界的なインフレ動向への警戒や米国景気の先行き不透明感などから国内株式市況が一時的に下落したことが、一時的な基準価額の下落要因となりました。

## 銘柄要因

上位5銘柄・・・ギフトィ、SHOEI、Sansan、インターネットイニシアティブ、ベイクレント・コンサルティング

下位5銘柄・・・セプテーニ・ホールディングス、ビザスク、メルカリ、テクマトリックス、エアトリ

※参考指数は、2022年4月1日までは「JASDAQ INDEX」です。東京証券取引所の市場区分再編により、2022年4月4日以降は「RUSSELL/NOMURA Small Capインデックス（配当込み）」に変更いたしました。

（注）参考指数は、東京証券取引所の市場区分再編に伴い、2022年4月1日までは「JASDAQ INDEX」のリターンを利用し、2022年4月4日以降「RUSSELL/NOMURA Small Capインデックス（配当込み）」のリターンを利用して指数化（2指数のリターンを繋いだ合成指数）しています。

詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

※参考指数は、期首の値をファンドの基準価額と同一になるように指数化しています。

2022年2月26日～2023年2月27日

1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	453	1.880	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
( 投 信 会 社 )	(240)	(0.995)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
( 販 売 会 社 )	(187)	(0.774)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
( 受 託 会 社 )	( 27)	(0.111)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	9	0.037	(b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
( 株 式 )	( 9)	(0.037)	
(c) その他費用	1	0.004	(c) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
( 監 査 費 用 )	( 1)	(0.004)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合 計	463	1.921	

期中の平均基準価額は、24,118円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

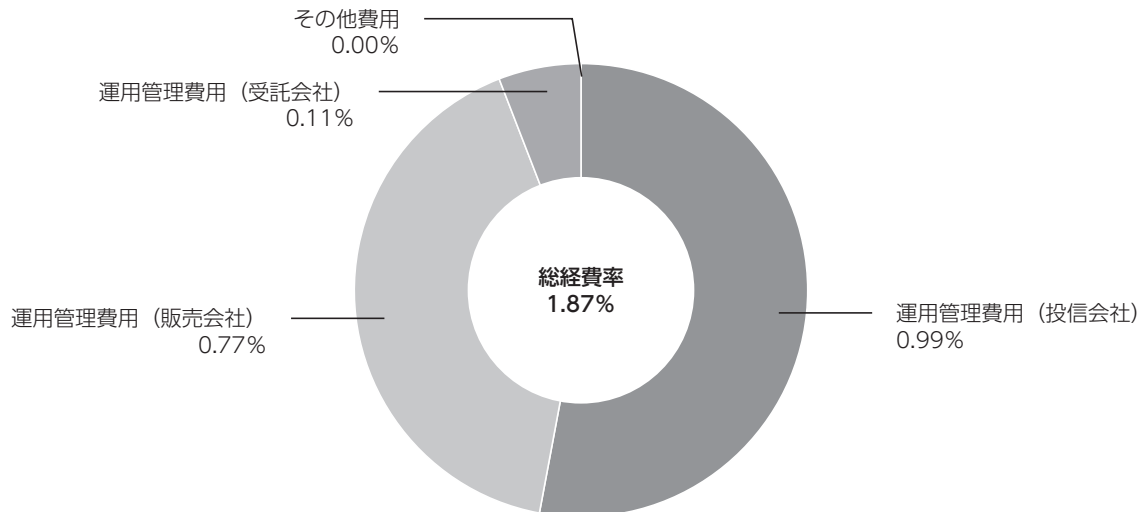
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## (参考情報)

### ■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.87%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

2018年2月26日～2023年2月27日

## 最近5年間の基準価額等の推移について



※分配金再投資基準価額、参考指数は、2018年2月26日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。  
 ※2022年4月4日の東京証券取引所の市場区分再編時点にラインを入れています。

## 最近5年間の年間騰落率

	2018/2/26 期初	2019/2/25 決算日	2020/2/25 決算日	2021/2/25 決算日	2022/2/25 決算日	2023/2/27 決算日
基準価額 (円)	22,501	18,215	18,528	26,287	23,562	24,190
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	250	270	240	290	380
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	-17.9	3.2	43.2	-9.3	4.3
参考指数騰落率 (%)	—	-16.4	6.0	16.1	-14.2	11.3
純資産総額 (百万円)	18,983	14,680	10,481	6,512	4,737	4,470

※ファンド年間騰落率は、参考指数年間騰落率と比較するため、収益分配金 (税込み) を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

参考指数は、2022年4月1日までは「JASDAQ INDEX」です。東京証券取引所の市場区分再編により、2022年4月4日以降は「RUSSELL/NOMURA Small Capインデックス (配当込み)」に変更いたしました。

(注) 参考指数は、東京証券取引所の市場区分再編に伴い、2022年4月1日までは「JASDAQ INDEX」のリターンを利用し、2022年4月4日以降「RUSSELL/NOMURA Small Capインデックス (配当込み)」のリターンを利用して指数化 (2指数のリターンを繋いだ合成指数) しています。

詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

第23期：2022年2月26日～2023年2月27日

## 投資環境について

### 国内株式市況

#### 国内株式市況は上昇しました。

期間の初めから2022年11月下旬にかけては、外国為替市況で円安・米ドル高が進み投資家心理が改善したことや、商品市況が落ち着きを見せインフレへの過度な警戒感が一服したことに加えて、堅調な国内企業決算や新型コロナウイルスの

水際対策緩和などによる経済活動正常化への期待が高まったことなどから上昇しました。

12月上旬から期間末にかけては、世界的なインフレ動向への警戒や米国景気の先行き不透明感など、グローバルでの景況感に大きく左右され、一進一退の展開となりました。

## 当該投資信託のポートフォリオについて

わが国の金融商品取引所上場株式の銘柄を投資対象とし、21世紀の日本を代表する経営者を発掘し、その成長性に富んだ企業に注目し投資を行いました。

組入銘柄数は概ね103～114銘柄程度で推移させました。ファンダメンタルズの変化や新規投資候補銘柄との相対比較等を勘案し、適宜銘柄入替を行いました。

期間の初め、期間末の比較では、水やお茶といった定番となる飲料の製造・販売等で高いコスト競争力を有するライフドリンク カン

パニー、フリーランスを活用したコンサルティングやシステム開発支援等を展開する I N T L O O P、ウルトラマンなどの競争力のある I P（知的財産）をグローバルに展開する円谷フィールズホールディングスなど16銘柄を新規に組み入れました。一方、高速プレス機を手掛けるアイダエンジニアリング、各種化学品を手掛ける田岡化学工業、医療用漢方薬を販売するツムラなど14銘柄を全株売却しました。

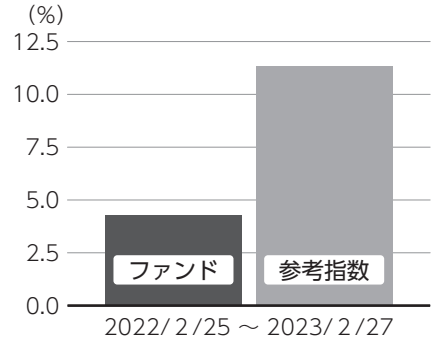
## 当投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率との対比です。

参考指数は、2022年4月1日までは「JASDAQ INDEX」です。東京証券取引所の市場区分再編により、2022年4月4日以降は「RUSSELL/NOMURA Small Capインデックス（配当込み）」に変更いたしました。

(注) 参考指数は、東京証券取引所の市場区分再編に伴い、2022年4月1日までは「JASDAQ INDEX」のリターンを利用し、2022年4月4日以降「RUSSELL/NOMURA Small Capインデックス（配当込み）」のリターンを利用して指数化（2指数のリターンを繋いだ合成指数）しています。

### 基準価額と参考指数の対比（騰落率）



※ファンドの騰落率は分配金込みで計算しています。

## 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準・市況動向等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

### 分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第23期 2022年2月26日～2023年2月27日
当期分配金（対基準価額比率）	380 (1.547%)
当期の収益	274
当期の収益以外	105
翌期繰越分配対象額	14,189

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。



## 今後の運用方針 (作成対象期間末での見解です。)

当面の株式市場は欧米における金融引き締めの長期化による影響を見極める必要はあり神経質な展開が想定されます。国内経済は経済活動の正常化やインバウンドによる景気下支えに加えて、「ゼロコロナ」政策を緩和した中国経済の回復についても期待ができると考えています。その一方、日銀の金融政策修正を受けて、為替、株式市場などへも影響が生じていることから、今後の金融政策については注視します。このような想定の下、直近の決算において個別企業の取り組みや競争力などを精査してまいります。

引き続き、わが国の金融商品取引所上場株式の銘柄を投資対象とし、21世紀の日本を代表する経営者を発掘し、その成長性に富んだ企業に注目していきます。

運用に当たっては、足下の業績および中長期の成長性などを精査しつつ、マクロの景況感等外部環境に左右されにくく持続的に成長が期待できる独自のビジネスモデルを展開している企業や経営者の資質の高い新興・小型企業などに引き続き注目し、企業調査を通じたボトムアップ・アプローチにより銘柄の厳選を継続する方針です。

また、ファンダメンタルズ以上に株価上昇がみられる銘柄及び短期間で株価が大幅に上昇したと判断される銘柄については、利益確定の売却や組入比率の調整などを行い、比較的株価が割安水準にあり成長期待の大きい中小型成長銘柄への入れ替えを継続することでパフォーマンスの向上に努めていく方針です。

# お知らせ

## ▶ 約款変更

- ・東京証券取引所の市場区分の見直しに対応するために、投資信託約款に記載している投資態度の変更を行い、信託約款に所要の変更を行いました。(2022年4月4日)

## ▶ その他

- ・参考指数の変更について

東京証券取引所の市場区分再編にともない、以下の通り当ファンドの参考指数を変更いたしました。

旧参考指数：JASDAQ INDEX（2022年4月1日まで）。

新参考指数：Russell/Nomura Small Capインデックス（配当込み）（2022年4月4日以降）。

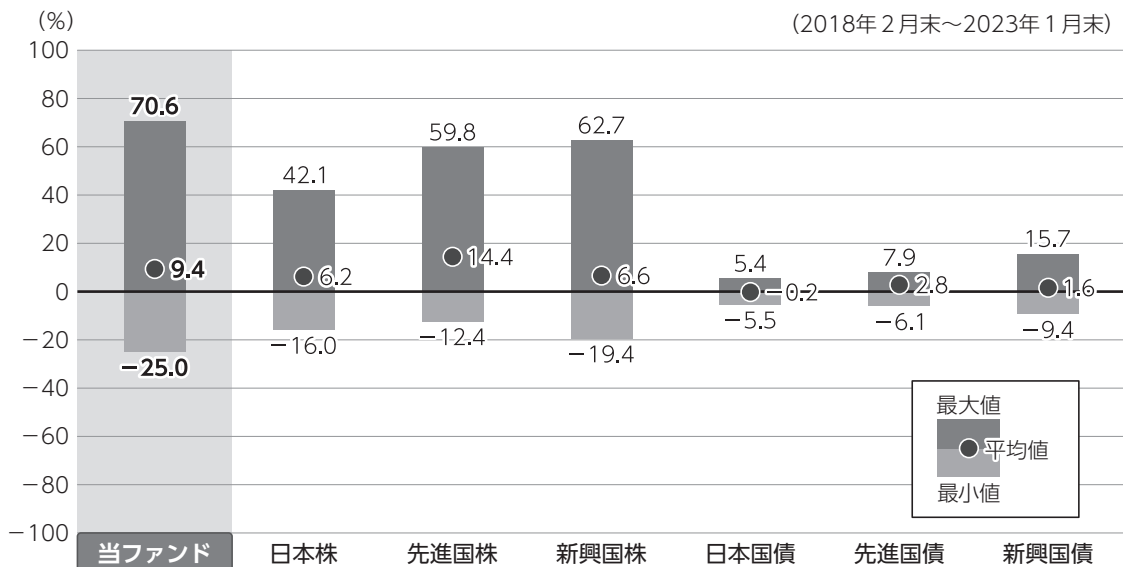
（注）参考指数は、2022年4月1日までは「JASDAQ INDEX」のリターンを利用し、2022年4月4日以降「RUSSELL/NOMURA Small Capインデックス（配当込み）」のリターンを利用して指数化（2指数のリターンを繋いだ合成指数）しています。

- \*本書が、受益者のみなさまのお手元に届くのは作成対象期間末から2ヵ月以上が経過していることにご留意ください。なお、最近の運用状況や約款変更の内容等は当社ホームページ（<https://www.am.mufig.jp/>）にて開示を行っている場合があります。

## 当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／国内／株式
信託期間	無期限（2000年2月29日設定）
運用方針	信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	わが国の金融商品取引所上場（これに準ずるものを含みます。）株式
運用方法	わが国の金融商品取引所上場株式を主要投資対象とします。 21世紀の日本を代表する経営者を発掘し、その成長性に富んだ企業の株式に投資します。 ファンドマネージャー自身のボトムアップ・アプローチによる銘柄選定を行います。
分配方針	毎年2月25日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。基準価額水準・市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。（ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わない場合もあります。）

# ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



●上記は、2018年2月から2023年1月の5年間における1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

## 各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス (配当込み)
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み)
日本国債	NOMURA-BPI (国債)
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本)
新興国債	JPMorgan Global Diversified

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

●全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

●ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

●騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

# 当該投資信託のデータ

2023年2月27日現在

## ▶ 当該投資信託の組入資産の内容

### 組入上位10銘柄

(組入銘柄数：110銘柄)

	銘柄	種類	国・地域	業種／種別	比率(%)
1	ベイカレント・コンサルティング	株式	日本	サービス業	3.8
2	SHOEI	株式	日本	その他製品	3.2
3	インフロニア・ホールディングス	株式	日本	建設業	2.6
4	フルキャストホールディングス	株式	日本	サービス業	2.5
5	Sansan	株式	日本	情報・通信業	2.4
6	アダストリア	株式	日本	小売業	2.3
7	ビジョナル	株式	日本	情報・通信業	2.3
8	インターネットイニシアティブ	株式	日本	情報・通信業	2.1
9	MARUWA	株式	日本	ガラス・土石製品	2.0
10	ジャパンマテリアル	株式	日本	サービス業	1.8

※比率は純資産総額に対する割合です。  
 ※原則、国・地域については、法人登録地を表示しています。

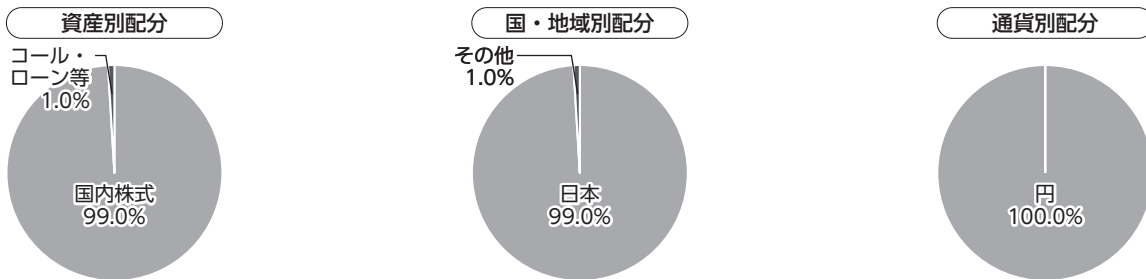
※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

### 純資産等

項目	第23期末 2023年2月27日
純資産総額 (円)	4,470,834,005
受益権口数 (口)	1,848,253,063
1万口当たり基準価額 (円)	24,190

※当期中において追加設定元本は88,277,886円  
 同解約元本は 250,752,424円です。

### 種別構成等



※比率は純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。  
 ※原則、国・地域については、法人登録地を表示しています。

※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先としてのファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。

# 指数に関して

## ▶ ファンドの参考指数である『RUSSELL/NOMURA Small Capインデックス（配当込み）<sup>(注)</sup>』について

参考指数は、2022年4月1日までは「JASDAQ INDEX」です。東京証券取引所の市場区分再編により、2022年4月4日以降は「RUSSELL/NOMURA Small Capインデックス（配当込み）」に変更いたしました。

(注) 参考指数は、東京証券取引所の市場区分再編に伴い、2022年4月1日までは「JASDAQ INDEX」のリターンを利用し、2022年4月4日以降「RUSSELL/NOMURA Small Capインデックス（配当込み）」のリターンを利用して指数化（2指数のリターンを繋いだ合成指数）しています。

Russell/Nomura Small Capインデックス（配当込み）の知的財産権とその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社およびFrank Russell Companyに帰属しています。また、この両社は当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではありません。

## ▶ 「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

### ● 東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）とは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出される株価指数です。TOPIXの指数値及びTOPIXに係る標準又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る標準又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。

### ● MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）

MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

### ● MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

### ● NOMURA-BPI（国債）

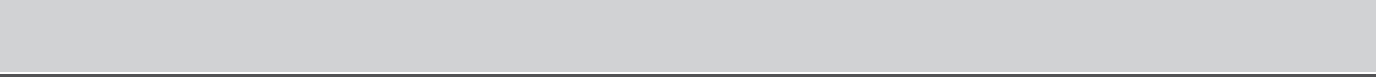
NOMURA-BPI（国債）とは、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表しているわが国の代表的な国債パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI（総合）のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

### ● FTSE世界国債インデックス（除く日本）

FTSE世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドののスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

### ● JPMorganGBI-EMグローバル・ダイバースファイド

JPMorganGBI-EMグローバル・ダイバースファイドとは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出して公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当指数の著作権はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。





三菱UFJ国際投信